



2022年6月28日

各位

会社名 株式会社 ミダックホールディングス
代表者名 代表取締役社長 加藤 恵子
(コード番号: 6564 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 取締役経営企画部長 高田 廣明
電話番号 053-488-7173

長期ビジョン及び中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2023年3月期から2032年3月期までを対象とした長期ビジョン及び2023年3月期から2027年3月期までの中期経営計画を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、詳細につきましては添付資料をご参照ください。

記

1. 長期ビジョン名称

ミダックグループ10年ビジョン「Challenge 80th」

当社グループは2022年4月に創業70周年を迎えました。この大きな節目を機に、当社グループは、次の10年後の80周年に目指すべき姿を具現化するために、ミダックグループ10年ビジョン「Challenge 80th」を策定しました。

2. 中期経営計画策定について

「Challenge 80th」の実現に向け、当社は今後5ヶ年の中期経営計画を2次にわたって推し進めてまいります。2027年3月期までの第1次中期経営計画は、「成長加速のための基盤づくり」という位置づけのもと、今年度より成長戦略を推し進めております。

3. 数値目標

【連結】

(単位: 百万円)

	2022年3月期 (実績)		2027年3月期 (中期経営計画)		2032年3月期 (Challenge 80th)	
		構成比		構成比		構成比
売上高	6,381	—	10,000	—	40,000	—
営業利益	2,264	35.5%	—	—	—	—
経常利益	2,188	34.3%	5,000	50.0%	12,000	30.0%
当期純利益	1,284	20.1%	—	—	—	—

以上

水・大地・空気をみらいにつなぐ



ミダックグループ10年ビジョン

Challenge 80th と中期経営計画

現在、様々な理由により、 地球規模で廃棄物は増加しています

経済
成長

人口
増加



自然災害
の激甚化

廃棄物処理を通じて、 人々の暮らしに欠かせないエッセンシャル ワーカーとしての使命を果たします。



地域社会の環境インフラとして、地域連携BCPへの取り組みを推進

これまでの取り組み



【売木村と締結】（2022年3月）
地震等大規模災害時における災害
廃棄物の処理等に関する協定書

【株式会社三共と締結】（2021年7月）
パンデミック等災害時における一般廃棄物収集
運搬転手の相互支援に関する協定



地震等大規模災害時における
災害廃棄物の処理等に関する協定書

【牧之原市と締結】（2022年5月）

【豊橋市と締結】（2019年12月）
災害時における災害廃棄物の
仮置場用地の確保等に関する
協定



経営理念

**ミダックグループは、水と大地と空気そして人、すべてが共に栄る
かけがえのない地球を次の世代に美しく渡すために、
その前線を担う環境創造集団としての社会的責任を自覚して、
地球にやさしい廃棄物処理を追求してまいります。**



2032年4月

ミダックグループ10年ビジョン

『Challenge 80th』

2022年4月

ミダック
70周年



業界屈指の総合廃棄物
処理企業への進化を推し進め、
業界を代表する
真のリーダーを目指す。

同時に、より最適な経営基盤を構築するべく
「持株会社体制」へ移行しました。

グループ経営戦略
の立案機能強化

成長投資
の積極化

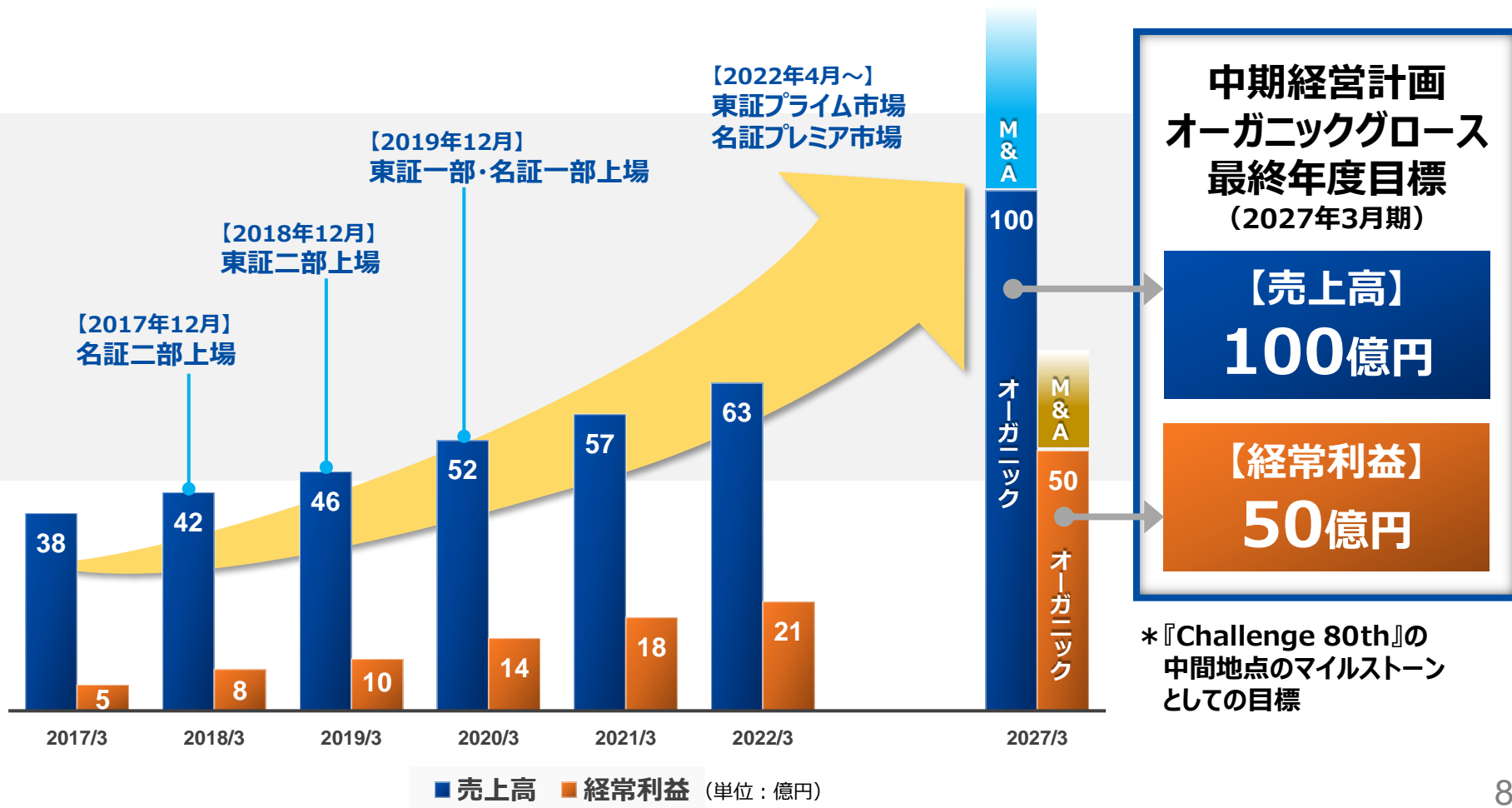
ガバナンス
の強化

企業価値の最大化へ

『Challenge 80th』の実現に向け、 2次にわたる中期経営計画を推し進めます。



成長を持続し、オーガニックグロースのみで 5年後に売上高100億円・経常利益50億円へ



私たちの強みを徹底的に追求する成長戦略 を推し進めます。

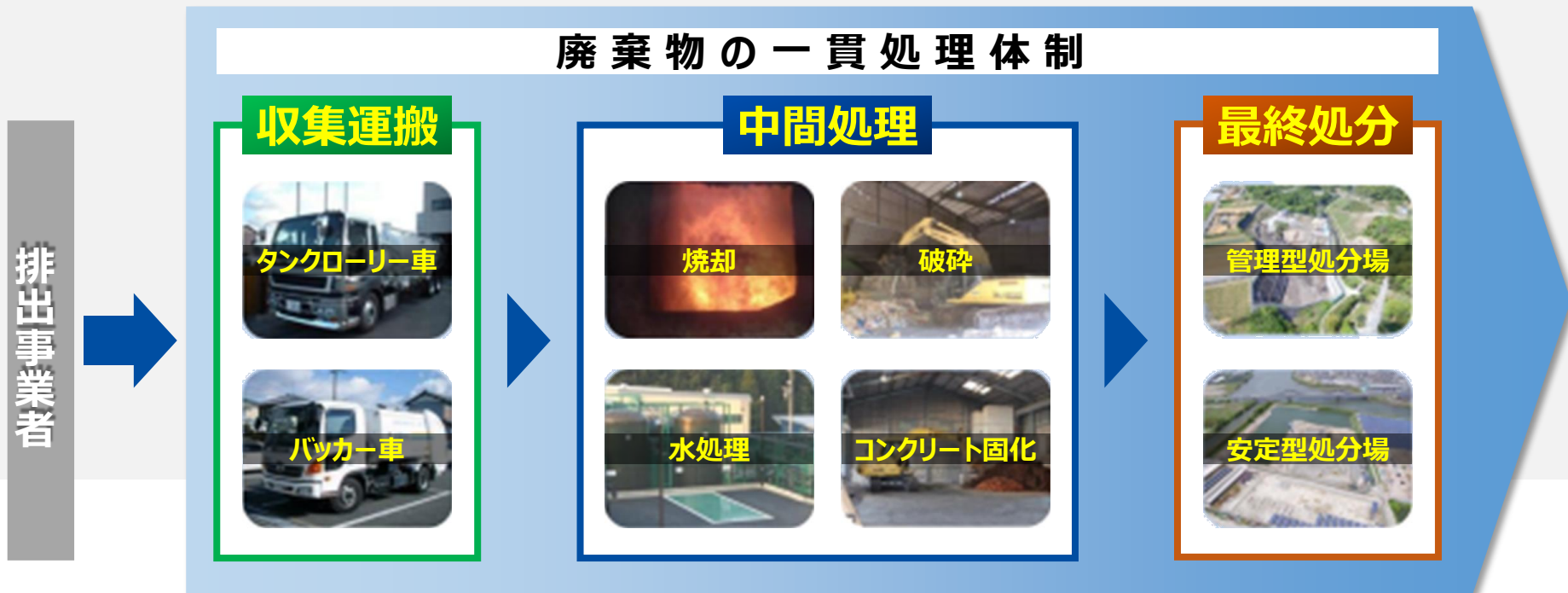
ミダックグループ 3つの強み

一貫処理
体制

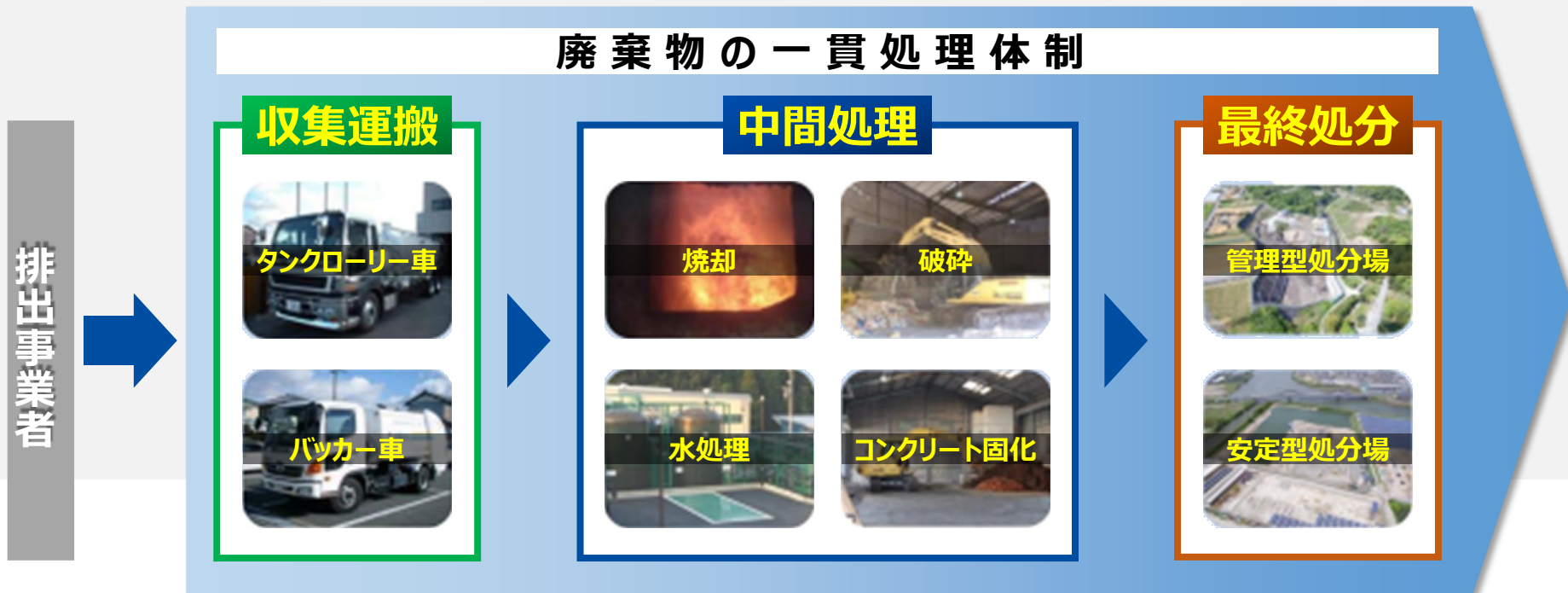
最終処分

焼却

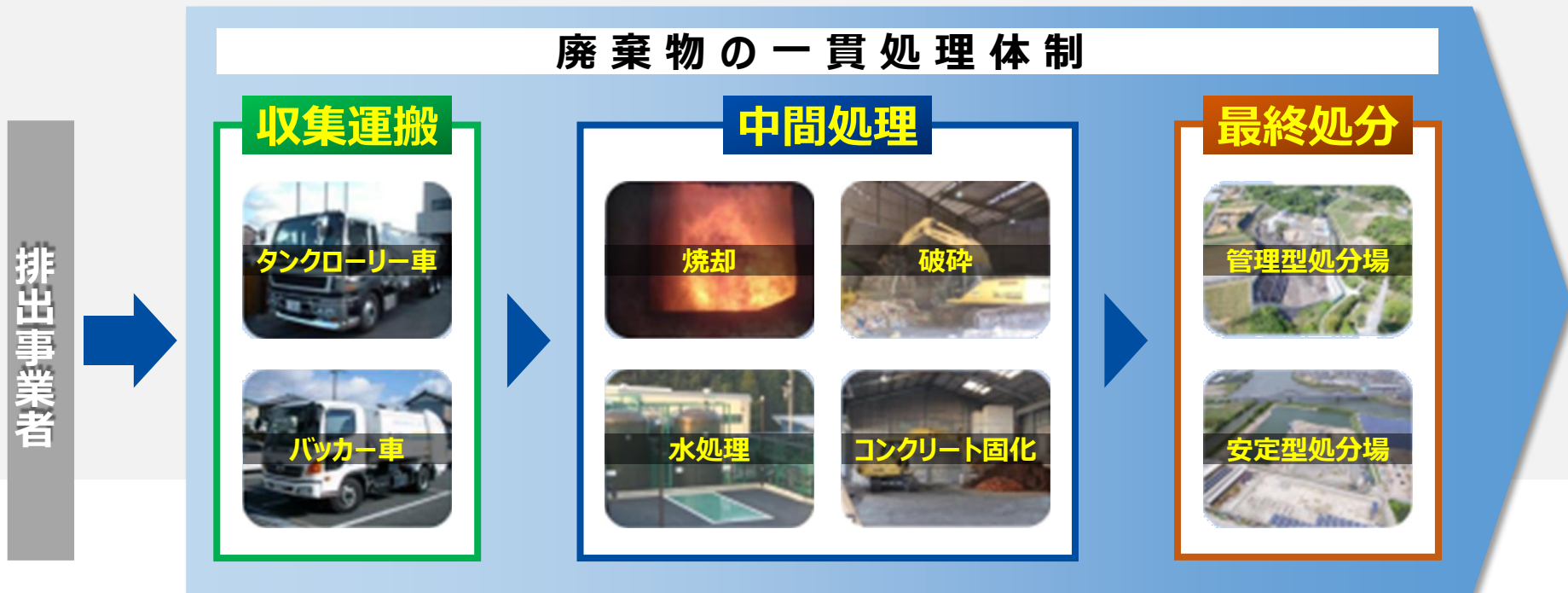
第一に、最終処分を含めた「一貫処理体制」 を有する強みを追求してまいります。



第二に、「最終処分」を「コア事業」と位置づけ、 差別的優位性をさらに拡大してまいります。



第三に、一貫処理体制の強化に向け、「焼却」や「水処理」などの中間処理施設の増強を推進してまいります。



成長加速を図るべく、成長投資として
オーガニック投資とM&A投資を同時に追求します。

オーガニック投資

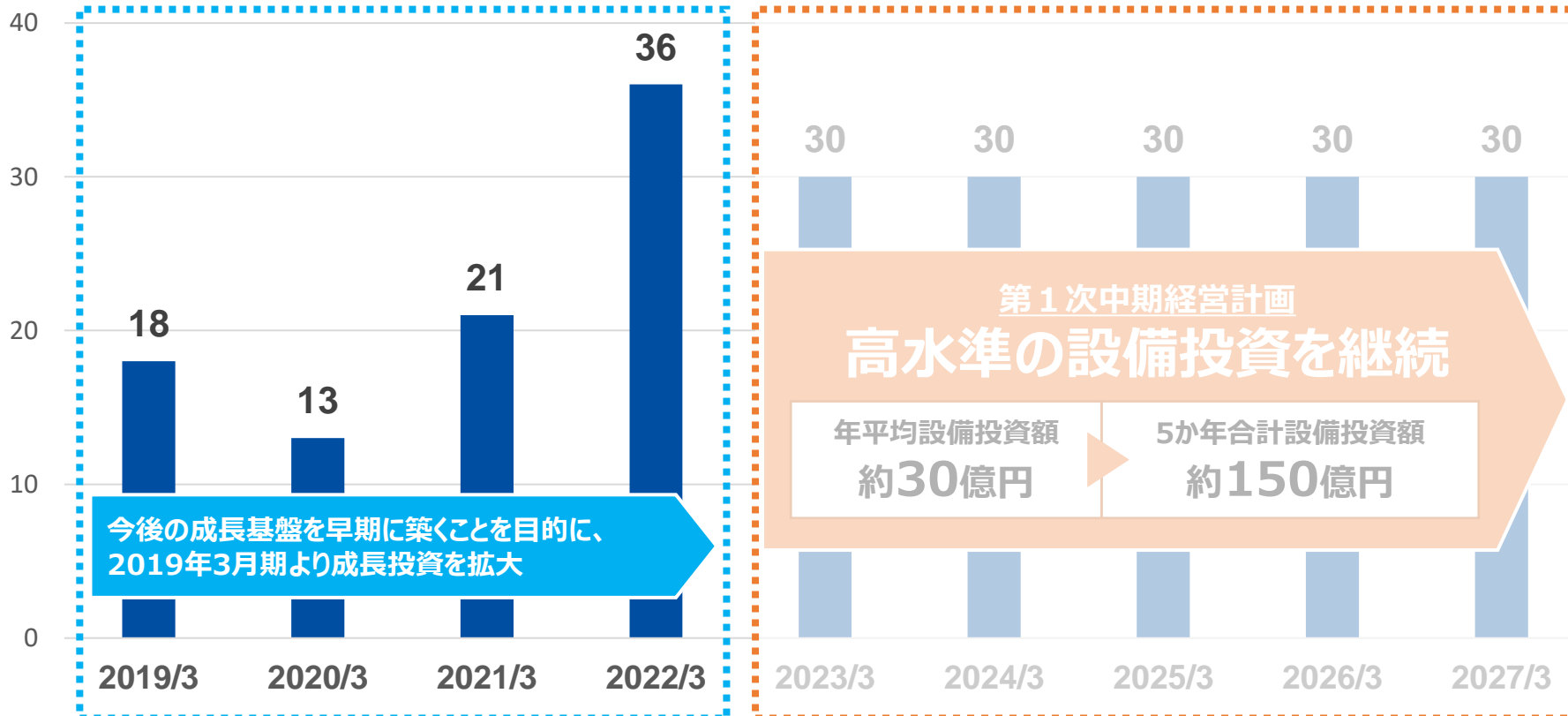
M&A投資

中間処理施設や最終処分場への
投資を、長期的な目線から展開

積極的なM&A推進により、
成長を加速

オーガニック投資では、2019年3月期より成長投資を拡大してきました。

▶設備投資額の推移（億円）



2022年3月期までの4年間で行った投資により、 成長基盤の強化が着実に進みました。

最終処分場

奥山の杜クリーンセンター (管理型最終処分場)

- 許可容量319万 m^2
 - ・ 東海地区で最大規模クラス
 - ・ 遠州CCの **7倍強**
 - ・ 東京ドームの約2.5杯分
- 埋立予定期間：約30年
- 投資予定総額：約120億円

2022年2月 開業



2022年3月期までの4年間で行った投資により、 成長基盤の強化が着実に進みました。

中間処理施設

熊谷市 焼却施設

(施設名称未定)

- 面積：8,859.66㎡
- 施設規模（計画）：
200 t / 日程度
(富士宮事業所：132 t / 日)
- 取得金額：約6.4億円
- 物件取得日：
2022年3月18日

2021年11月 用地取得



2022年3月期までの4年間で行った投資により、 成長基盤の強化が着実に進みました。

中間処理施設

浜松市 水処理施設

(施設名称未定)

- 面積：12,851.64㎡
- 施設規模（計画）：
処理能力は既存施設の約5倍
- 投資総額：約32億円（予定）
- 資金計画：
取得資金の一部は新株式発行により
調達し、残額については自己資金で
充当する予定

2019年12月 用地取得



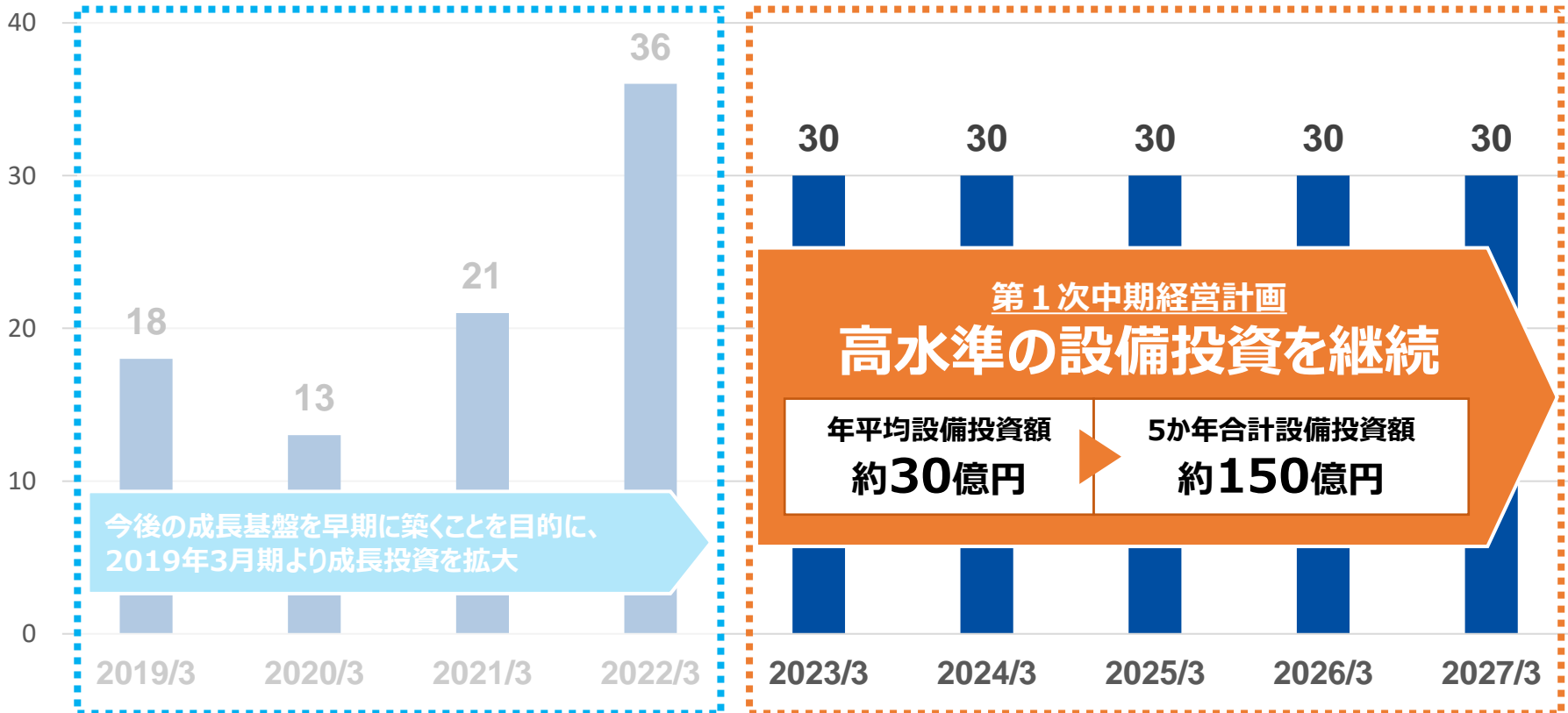
2026年4月以降 開業予定



写真はイメージです

今後5年間も積極的な成長投資を継続し、約150億円の設備投資計画を実行します。

▶設備投資額の推移（億円）



既存拠点の増量・長寿命化投資に加え、 関東地域への事業エリア拡大投資を実行します。

既存拠点の
増量計画 & 長寿命化計画
を推進

関東地域への 事業エリアの拡大

太平洋ベルト近辺に
焼却施設 & 最終処分場の
設置候補地を複数選定

同時並行的に計画を推進し
早期設置許可取得を目指す



戦略的M&Aによる
迅速・柔軟な拠点開発

許可取得が容易ではない最終処分場については、候補地を広範囲に設定して開発を推進します。

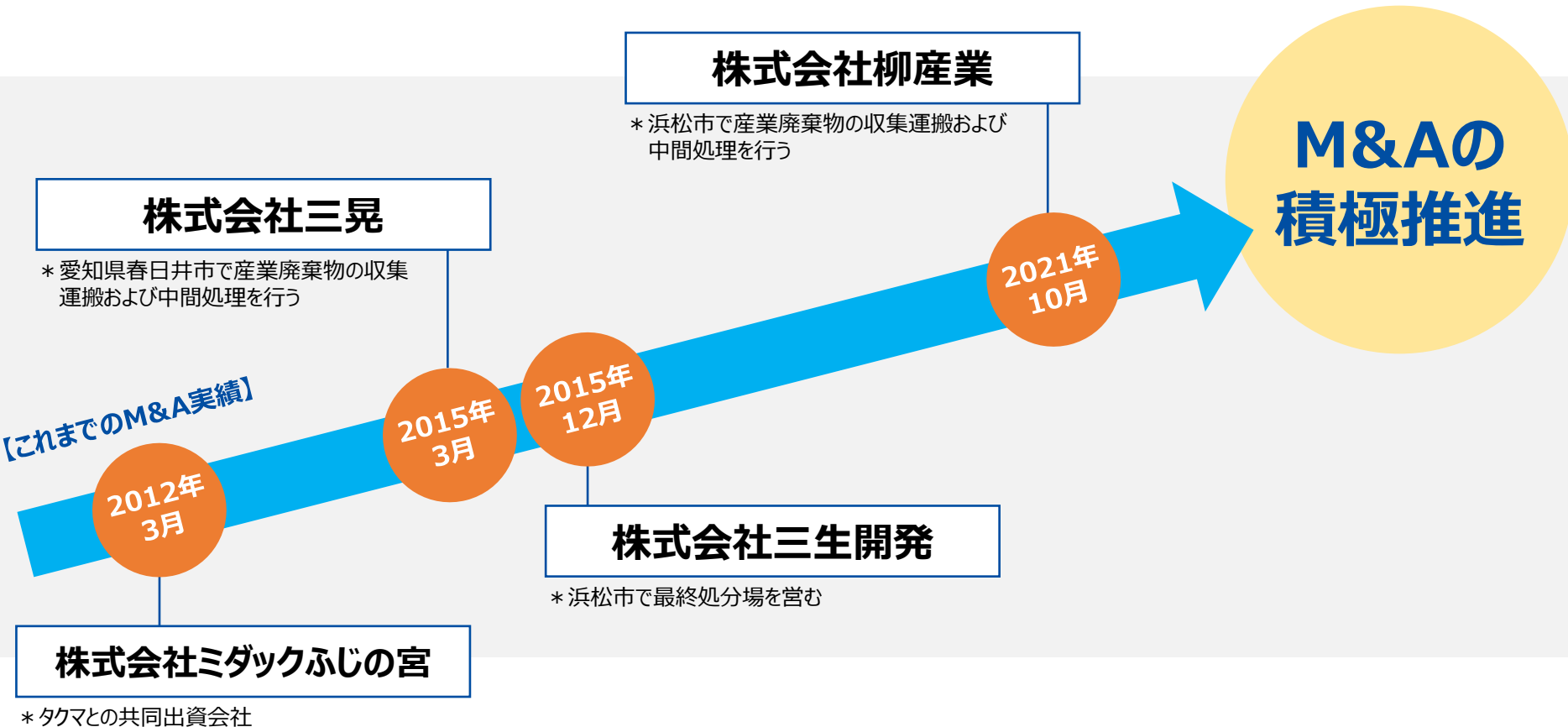


新たな最終処分場候補地は、東日本エリア全体に拡大

最終処分場候補地

- 東日本エリアにおいて、2ヶ所の管理型最終処分場を計画
(各150万 m^3 ~200万 m^3 超)
- いずれも地形測量、地質調査を完了し、環境調査を実施中

これまでのM&A実績を基礎に、スピーディな拠点開発が可能なM&Aを推進します。



最終処分場と中間処理施設の増強を推し進め、成長基盤の強化を着実に積み上げていきます。

成長基盤強化の積み上げ

中間処理施設

【2021年11月 用地取得】
新規焼却施設

【2019年12月 用地取得】
新規水処理施設

最終処分場

【用地取得済み】
東日本エリアで新規CC開業 ②

【用地取得済み】
東日本エリアで新規CC開業 ①

【2018年 用地取得 ⇒ 2022年2月 開業】
奥山の杜クリーンセンター

長期的な視点から、積極的な成長投資を継続

M&A投資が加わることで、基盤積上げが加速！

成長基盤強化の積上げ

中間処
理施設

【随時模索】

M&A

【2021年11月 用地取得】

新規焼却施設

【2019年12月 用地取得】

新規水処理施設

【随時模索】

M&A

【用地取得済み】

東日本エリアで新規CC開業 ②

【用地取得済み】

東日本エリアで新規CC開業 ①

【2018年 用地取得 ⇒ 2022年2月 開業】

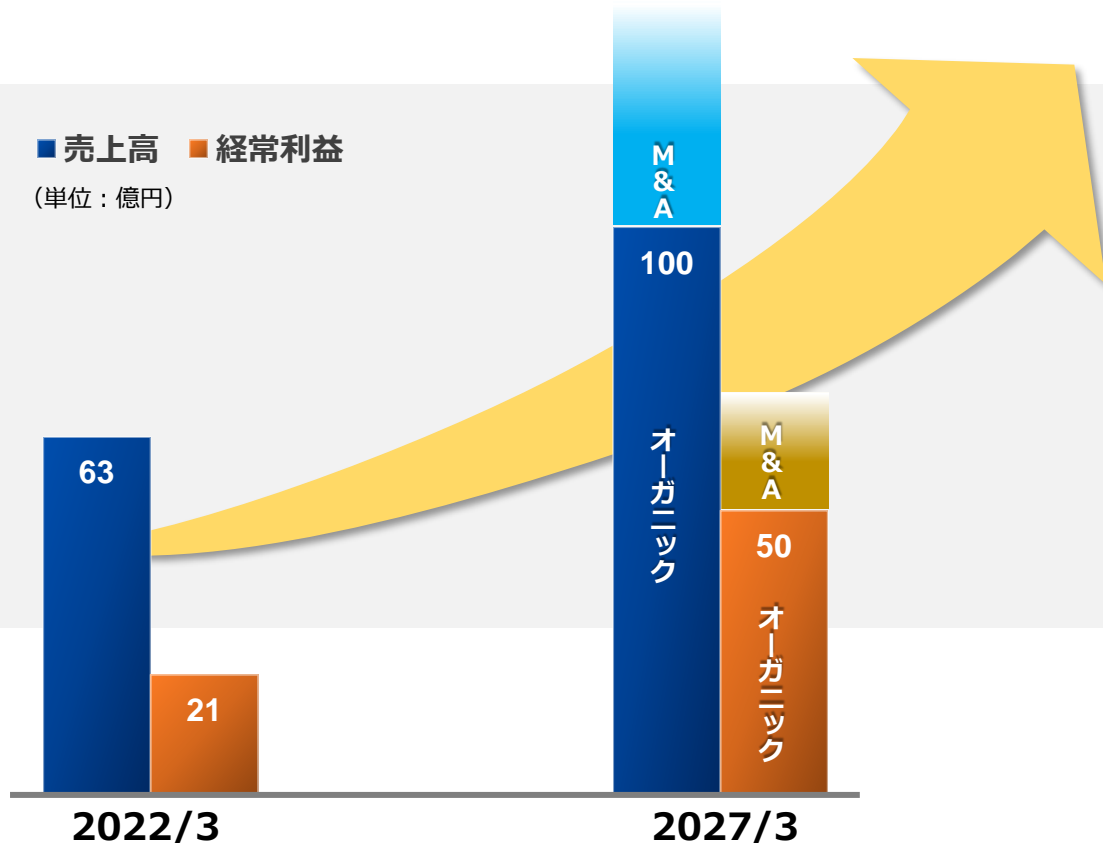
奥山の杜クリーンセンター

最終処
分場

長期的な視点から、積極的な成長投資を継続

『Challenge 80th』の実現に向けて、チャレンジングな経営を推し進めてまいります。

■ 売上高 ■ 経常利益
(単位：億円)



ミダックグループ10年ビジョン
『Challenge 80th』

業界屈指の総合廃棄物処理
企業への進化を推し進め、
業界を代表する真のリーダー
を目指す。

2032年3月期
チャレンジ目標
(M&A含む)

【売上高】400億円

【経常利益】120億円

ミダックグループ10年ビジョン

『Challenge 80th』

**業界屈指の総合廃棄物
処理企業への進化を推し進め、
業界を代表する真のリーダーを目指す。**